

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 学校法人大津文化学園

(様式A-9)

訓練の種別	☐	基礎コース ()				就職を想定する職業・職種 ソフトウェアプログラマー WEBアプリケーションプログラマー		
	☒	実践コース (02 IT分野)						
	☐	職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	☐	託児サービスコース	☒		短時間訓練コース (月80時間以上100時間未満)	
	☐	「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	☐	「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	☐			
訓練科名	Web・ITプログラミング科(短時間) ※40文字以内で記入してください。							
募集期間(予定)	令和7年9月29日 ~ 令和7年10月28日							
選考日(予定)	令和7年10月31日							
選考方法	☒	面接	☒	筆記試験	☐	その他 ()		
選考結果通知日	令和7年11月5日							
訓練期間	令和7年11月14日 ~ 令和8年5月13日 (6 か月)					(訓練日数 90 日)		
訓練時間	9 時 00 分 ~ 15 時 30 分					訓練定員 15 名		
訓練対象者の条件	文書作成ソフト及び表計算ソフトの基本操作(ローマ字入力、表作成、編集、保存)ができる方							
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	☐	新規学校卒業生	☐	ニート等の若者	☐	障害者	☐	母子家庭の母等
	☐	被災者	☐	外国人	☐	その他 ()		
訓練目標 (仕上がり像)	情報サービス事業所において求められるパソコンスキルやプログラミングスキルを習得し、VBAプログラミングによる企業の定型的業務の効率化を図り、Python・PHP・JavaScriptプログラミングによるWebアプリケーション開発業務ができ、データベース構築に関連する業務ができる。							
訓練修了後に取得できる資格	名称	PHP8技術者認定初級試験			認定機関	PHP技術者認定機構	☒	任意受験
	名称				認定機関		☐	任意受験
	名称				認定機関		☐	任意受験
	名称				認定機関		☐	任意受験
	名称				認定機関		☐	任意受験
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)						☐		
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)						☐		
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)						☐		
訓練内容	訓練概要	アプリケーション開発におけるVBA・Python・PHP・JavaScriptを用いた基本設計、開発に関する知識及び技能・技術を習得する。【IT資格】【DSS対応】【短時間】(11/14は9時～11時50分まで、11/26/12/4/12/8/12/12/22/12/24/1/6/1/8/1/15/1/21/1/30/2/9/2/17/2/26/3/6/3/13/3/18/3/25/4/3/4/13/4/30/5/12は9時～14時30分まで訓練実施)						
	科目	科目の内容				訓練時間		
	学科	コンピュータ概論	情報の基礎(2進法、プログラム、文字コード)、コンピュータの構成・しくみ(入出力、記憶、音と映像、OSとアプリ、インターネット、セキュリティ)、ネットワークの基礎(TCP/IP、IPアドレス)				24時間	
		データベース構築概論	データベースの概要、SQLの基本構造				3時間	
		VBAプログラミング概論	マクロ・VBAの概要、作成の主な留意点				6時間	
		Webプログラミング概論	HTML・CSS・JavaScriptの概要、記述のルール				6時間	
		PHPプログラミング概論	PHPの概要、記述のルール				6時間	
		Pythonプログラミング概論	Pythonの概要、基本構造				6時間	
		安全衛生	安全衛生の必要性、VDT作業の留意点				3時間	
		就職支援	履歴書・職務経歴書作成指導、面接指導、インターネットによる就職情報収集				18時間	
	実技	データベース構築演習	テーブル設計演習、物理設計演習、SQLサーバーとの接続設定、データベース操作コマンド、テーブル操作コマンド、行操作コマンド、テーブル結合、サブクエリ(使用言語:SQL)				42時間	
		VBAプログラミング演習	Excel VBAの基本文法、Visual Basic Editorを用いた基礎的なマクロの読解・記述(使用ソフト:Excel)				84時間	
		Webプログラミング演習	HTMLコーディング(構造、テキスト、リスト、テーブル、リンク、画像、フォーム)、CSSコーディング(カラー、フォント、テキスト、ボックス、背景)、各ブラウザによる表示確認、JavaScriptを用いたショップサイトの制作(使用言語:JavaScript)				84時間	
		PHPプログラミング演習	テキストの操作、配列の操作、オブジェクトの操作、Webフォームの制作(使用言語:PHP)				78時間	
		Pythonプログラミング演習	開発環境の導入と基本設定、コーディング規約に沿ったコード作成、詳細設計書からのコード作成、作成したコードのデザインレビュー、コード修正とプログラミング、論理・データの確認、不具合の修正、インターフェース制作(使用言語:Python)				93時間	
		開発演習	テスト計画確認、モジュール開発、単体テスト、結合テスト、システムテスト(使用言語:Python等)				21時間	
		企業実習	☒	実施しない	☐	実施する	※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。	
職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】	「IT業界の現状」株式会社PKBソリューション				3時間		
	【職業人講話】	「IT業界での働き方」デザインカロン合同会社				3時間		
訓練時間総合計	480時間	学科 72時間	実技 402時間	企業実習 0時間	職場見学等 6時間			
受講者の負担する費用	教科書代	10,956円				合計 10,956円		
	その他 ()							
	備考 ()							
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	☒	全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する					
		☐	オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混合型)	☐	オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)	オンライン計 時間		
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	プロジェクターを使用し、講師のパソコン画面を大型スクリーンに投影することで、受講生全員が講義内容やパソコン操作方法を同時に視覚的に理解できるように工夫しております。						
受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	講師は演習時間にできるだけ教室内の巡回チェックを行い、各受講生の習得状況の確認、個別質問への対応、個別フォロー等を行います。							

※1 企業実習を予定している場合は、様式第10～12号を作成のうえ提出してください。
※2 様式第6号の「日別計画表」を添付してください。
※3 訓練推奨者欄には、特に訓練を推奨する対象がある場合に、当てはまるもの全てのチェック欄(□)に✓を記入してください。
「その他」の場合は、「訓練対象者の条件」欄に内容を記入してください。特にない場合はチェックは不要です。
※4 「職場体験」、「職業人講話」、「職場見学」については、それぞれの時間数が分かるように記入してください。
※5 訓練時間には、キャリアコンサルティング等の時間は含まれませんので、除いて記入してください。
※6 「オンライン計」については、算定対象訓練のうちオンラインで実施する訓練時間を記載してください。

(令和6年10月1日以降に申請する訓練科から適用)